

学校教育目標
いきいき なかよく
りそうに向かって
考動する子

学校だより

京都市立稻荷小学校
校長 大野 利和
令和2年2月

令和元年度 後期学校評価報告

お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。自由記述欄にもたくさんの貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。

今回は、前期からの子どもたちの変化、特に『積極的な意見の動向に注目して』分析いたしました。10月にお知らせした前期の学校評価分析結果と比べてご覧ください。

分析の結果をもとに今後の学校の取組に生かしてまいります。

アンケート結果集計

子どもたちの生活を よりよいものに 自らを振り返り、 互いに高め合う			1そう思う			2だいたいそう思う			3あまりそう思わない			4そう思わない		
			児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
生活面	1	自分から進んで挨拶ができている。	55%	47%	33%	35%	50%	67%	7%	3%	0%	3%	0%	0%
	2	先生に相談する。	43%	40%	33%	34%	56%	67%	12%	4%	0%	10%	0%	0%
	3	自分のよいところが言える。	40%	34%	13%	34%	56%	88%	17%	10%	0%	9%	0%	0%
	4	友達を大切にし、仲良くしている。	82%	50%	38%	14%	49%	63%	3%	2%	0%	1%	0%	0%
	5	忘れ物なく学習の準備ができている。	38%	29%	25%	42%	58%	50%	13%	12%	25%	6%	0%	0%
	6	係や掃除・給食当番の仕事を最後までできている。	74%	12%	38%	22%	41%	63%	3%	41%	0%	1%	6%	0%
	7	はきものをそろえている。	64%	21%	13%	25%	58%	75%	8%	20%	13%	3%	1%	0%
学習面	8	授業がよくわかる。	66%	45%	13%	29%	49%	75%	5%	6%	13%	0%	0%	0%
	9	授業中、話を最後までしっかり聞く。	62%	37%	50%	27%	58%	50%	9%	5%	0%	2%	0%	0%
	10	授業中、自分から進んで発表している。	44%	20%	25%	30%	54%	75%	17%	25%	0%	10%	1%	0%
	11	家庭学習や宿題を進んでしている。	59%	43%	25%	29%	50%	50%	8%	6%	13%	3%	1%	13%
	12	本をよく読んでいる。	48%	35%	13%	26%	36%	75%	13%	27%	0%	13%	2%	13%
	13	稻荷地域のことが好きである。	68%	9%	0%	20%	38%	63%	8%	46%	38%	4%	8%	0%

生活面について

三者比較グラフ

1 自分から進んで挨拶ができている。

(保護者) 進んで挨拶できるように、家でも挨拶をしている。

(教職員) 進んで挨拶できるように、教職員自ら挨拶している。

前期と比べ「そう思う」と答えた子どもの回答は 15 ポイント下がっています。教職員も 40 ポイント下がっています。学校では残念ながら進んで挨拶をするという環境レベルが下がっているようです。一方で、保護者の方の回答では 2 ポイント上がっていました。

挨拶を人とのコミュニケーションの第一歩だと考えると、良い校風を守る意味でも、初心に戻らなくてはなりません。

3 自分のよいところが言える

(保護者) 子どものよさを認め、褒めているよう

(教職員) 良さを積極的に見つけ、認め、褒めている。

「そう思う」という積極的な回答は、子どもたちでは 9 ポイント下がり、教職員も 17 ポイント下がっています。

子どもの良い面に触れたとき、私たち大人は幸せな気持ち、嬉しい気持ちになります。

それを敢えて言葉にして伝えることが大切です。「嬉しいよ」「ありがとう」「がんばったね」などはもちろん、子どもを認める言葉をたくさんもっておきたいものです。

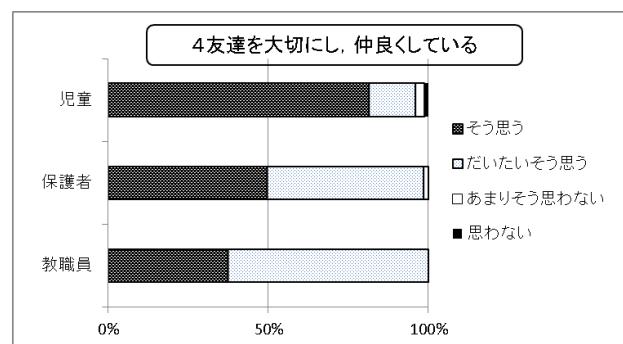
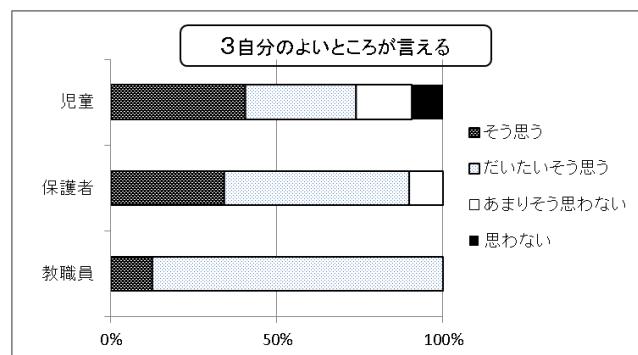
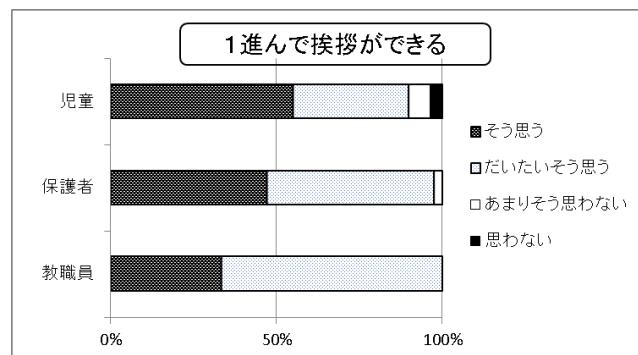
4 友達を大切にし、仲良くしている

(保護者) 友達を大切にし、仲良くするように働きかけている。

(教職員) 友達を大切にし、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる。

子どもの回答では 2 ポイント上がり、保護者の方も 6 ポイント上がっています。教職員も 27 ポイント上りました。

子どもたちの様子を見ていると、何か問題が起きても集団の中で自浄作用が働いているように感じる場面がよくあります。自分たちで問題を解決していくこうとする態度が高学年になるほど育っています。



5 忘れ物なく学習の準備ができている

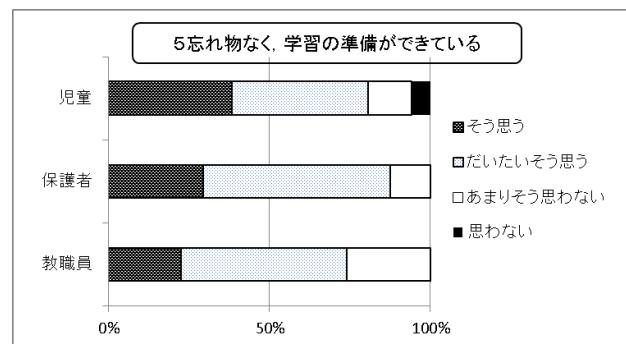
(保護者) 学習準備する習慣が定着するよう働きかけている。

(教職員) 学習準備する習慣が定着するよう働きかけている。

子どもたちは5ポイント上がっていますが、まだまだ課題は残ります。「あまり思わない」「全く思わない」子の割合は変わっていません。

忘れ物をして、それに気づいたら朝のうちにすぐに言いに来る子もいれば、それを使う場面になってやっと忘れたことに気づき、授業が始まってから困って言いに来る子もいます。「忘れない習慣」作りのためには、「前日の習慣」をくり返ることが必要です。

三者比較グラフ



6 係や掃除・給食当番の仕事を最後までできている

(保護者) 掃除や片付けの習慣がつくように役割を決めている。

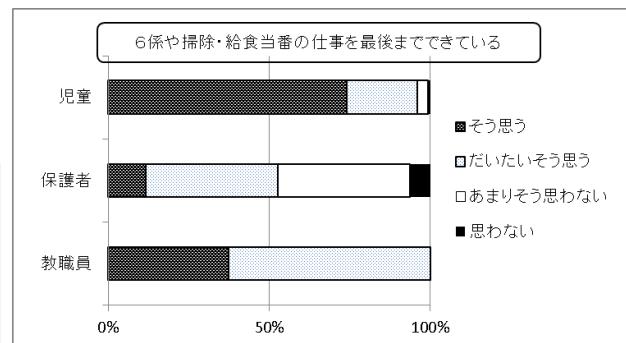
(教職員) 係や当番の仕事を最後までできるように働きかけている。

三者ともポイントを下げていました。

前期では、はりきってやってきたことが、後期になり様々な行事に追われる中で意識の低下が起こるのでしょうか。

それでも「だいたいそう思う」も含めると96%の子どもたちが出来ていると自己評価できているのは素晴らしいことです。

また、家でも子どもの役割について考えておられる様子は、素晴らしいと思います。



学習面について

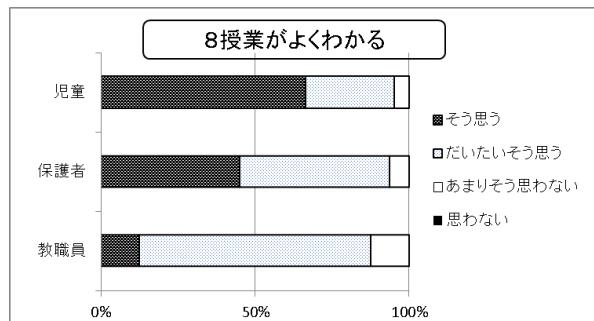
8 授業がよくわかる

(保護者) 授業が分かりやすいと言っている。

(教職員) 授業がよく分かるよう、学習課題・めあてとまとめ・振り返りを行っている。

95%の子が「よくわかる」「わかる」と自己評価をしています。

稻荷小学校の子どもたちは、一度教えてもらったことはよく覚えていますが、それを違った場面で応用することが苦手な子が多いと感じます。一つの課題について、一度解いて終わりではなく、何度もおさらいして慣れる中で、考え方の多様性に気づく機会をつくることが必要だと感じます。



9 授業中、人の話を最後まで聞く

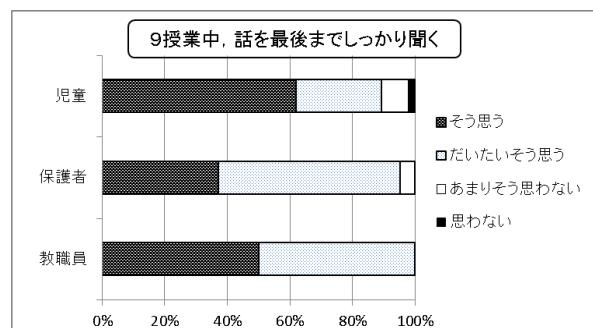
(保護者) 人の話をしっかりと聞くよう働きかけている。

(教職員) 授業中、人の話をしっかりと聞くよう働きかけている。

「あまりそう思わない」「全く思わない」という子が合わせて 11% います。

自分の話をしっかりと聞いてもらっていると自覚している子は人の話にも耳を傾けるという事例があるということは大変興味深く感じます。学校でもお互いに聞き合うことを大切にしていますが、大人がしっかりと子どもたちの話に耳を傾けなければならないと考えています。

三者比較グラフ



10 授業中、自分から進んで発表している

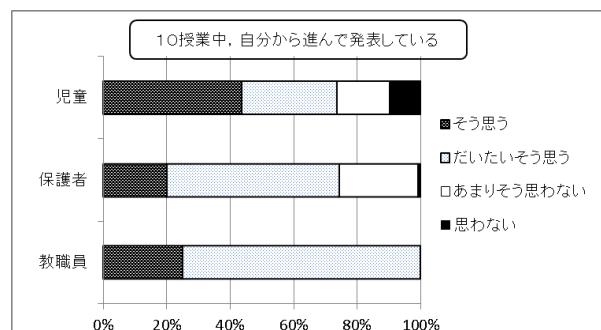
(保護者) 授業中、進んで発表するよう励ましている。

(教職員) 授業中、進んで発表するよう働きかけている。

子どもたちの回答では、4 ポイント下がっています。教職員は 19 ポイントも下がりましたが、「だいたいそう思う」を入れると全員が子どもたちの発表への態度を高評価しています。

学校では、子どもたちみんなが目を輝かせて発表するような授業を実現したいと、発問の工夫や授業のデザイン、評価の工夫に取り組んでいるところです。

学校は、いろんな考え方や気づきを伝え合うところです。ご家庭でも子どもたちの考えに耳を傾ける機会を是非つくってみてください。大人がびっくりするような考え方も聞けますよ。



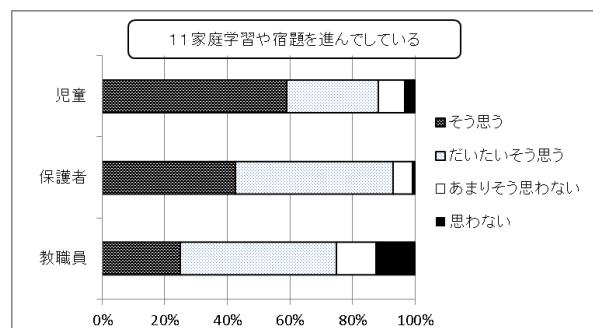
11 家庭学習や宿題を進んでしている

(保護者) 家庭学習の習慣が身に付くよう働きかけている。

(教職員) 家庭学習の習慣が定着するよう働きかけている。

保護者の方は 3 ポイント上がり、子どもたちは 6 ポイント下がり、教職員の評価は 25 ポイントも上がっています。

学校では、家庭学習をきちんとできる子が増えてきたなと感じっていても、ご家庭での叱咤激励の上になんとかできている子も多いのでしょうか。ご家庭のサポート、本当にありがとうございます。



1 2本をよく読んでいる

(保護者) 本をよく読むようにすすめている。

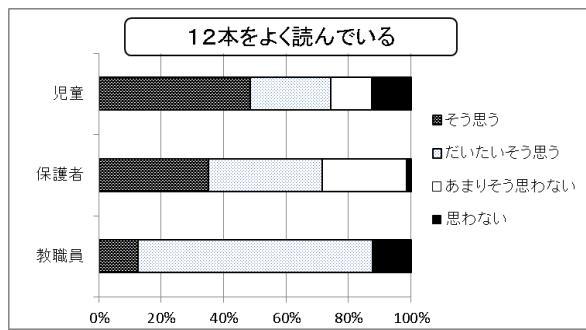
(教職員) 読書の習慣が定着するよう働きかけている。

学校では、本に親しむ子どもたちの様子がよく見受けられます。お誕生日に本を買ってもらったり、家から本をもってきて読んでいたり、図書室で静かに読書をしていました。

しかし、中には読みたい本がなく、絵を描いてみたいという子もいます。

読み聞かせには静かに、興味深い顔をして耳を傾ける子ばかりです。是非、本に親しむ時間をつくり、様々な本との出会いの扉を開けてほしいと思っています。

三者比較グラフ



1 3稻荷地域のことが好きである

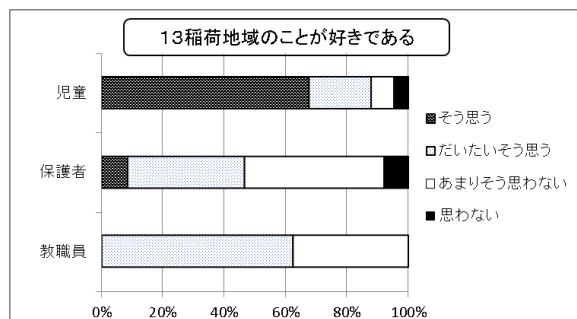
(保護者) 家庭で稻荷地域の良いところを話す機会をもっている。

(教職員) 稲荷地域の良さを学べるような教材・単元作りをしている。

前期と比べ、子どもたちは6ポイント上げています。総合的な学習の時間「いいよねいなり」などを通して稻荷の良いところについて考えたり、地域や保護者の方の温かい見守りを肌で感じたりしているのだと思います。

一方で、保護者の方や教職員は子どもたちが地域の良さを学ぶ環境づくりに、自分は、まだまだ尽くす手はあると考えているようです。

なかなか興味深い自己評価であると思います。



*保護者自由記述より ~同じ稻荷小学校保護者として~

○子どもに一番近い大人として、親として、見本となるよう挨拶は大切にしている。以前と比べて朝の挨拶は子どもから出来るようになったので、今後も心がけていきたいです。1学期は学校生活に慣れるのに大変かと家の役割をはっきり決めていなかったが、様子を見て少しづつ役割を決めている途中です。何かをやることの大変さや、出来た時の喜び等、子が経験して自分も一緒に成長していくらと思います。

○年間通して朝ランニングがあることはとてもいい取組だと思います。

○ホームページで子どもたちの様子がよく分かりありがとうございます。

○学芸会（保育園でいう生活発表会）はないのでしょうか。

○親の私たちも子どもも地域（稻荷）が大好きです。

○楽しそうに小学校に通っていて、ありがとうございます。いつもありがとうございます。

- 初めての小学校生活を「楽しい！」と言ってくれるのは親として何よりありがたくうれしい限りです。
- 担任の先生や、先生方々、小学校の雰囲気…いつもありがとうございます。
- いつも稻荷小学校へは楽しく元気に通わせていただいております。ありがとうございます。
- どうぞこれからも よろしくお願ひいたします。
- 「よさを認め、ほめるようにする」より先に、つい悪い所の指摘をしてしまう傾向にあります。悪い所に目をつむり、良い所だけほめてやれるようにしたらいいのですが…。
- いつもほんとうにありがとうございます。おかげさまで学校に楽しく通っています。
- いつもお世話になりありがとうございます。毎日「学校楽しかった～。」と言って帰ってきます。家でも困ったことがあれば話してくれます。休みの日や時間のある時になってしまいますが、良い習慣をつけじっくり話をする機会をもちたいと思います。
- 担任の先生を信頼し、親子共々助けられています。学校で自信をもつことが出来、前向きに物事にとりくむことができていると感じます。本当にいつもありがとうございます。
- いつも稻荷小学校へは、とても楽しんで通わせていただいております。ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。
- いつも丁寧に見て下さりありがとうございます。家庭でもできる事、心がけてこれからも進めていきたいと思います。
- 3年生になって、後片付けやお手伝いなど、身のまわりのことが自律的に出来る様になったと感じています。図書室で借りてくる本は、どうしても興味がかたよってしまうので、先生や周囲の方からあすすめして頂けると有難いです。自宅では、なるべく本棚に良書を並べる様には努力しているつもりですが…。
- 担任の先生には、子どものいいところを日々、小さいことでもほめていただいている様で、家で、本人が「うれしかった。」と話しております。家庭でも良いところは積極的にほめて、自己肯定感が高くなって、自分の事を好きでいてくれるよう働きかけ、声かけしていくたいと思います。いつもきめ細やかなご指導をしていただき、ありがとうございます。
- 先生にほめてもらえることが嬉しく、学校がとても楽しいと言っています。又、お友達の良い所やすごい！と思った所を素直に認め、言葉にしているところが素晴らしいと思います。
- 授業中の発表や読書など、あまりこちら（親側）からはすすめていなかったなあ…と思いました。
- クラス・個人の元気な所を伸ばそうと思ってくださり、そして、落ち着いた感じで見守ってもらっている様に感じ、担任の先生に見習おう！と、家庭内で意識しています。ありがとうございます。そして、いい雰囲気の稻荷小に通え、いつも感謝しています。
- 家の役割は特に決めていないが、子ども本人が進んで整理整頓をしてくれて、とても助かっています。
- 稻荷の良いところよりも観光公害が目立つので、悪い所や残念なことを話す方が多いです。
- 親に相談することが少ない子なので、しっかりと目を離さないように（心を見つめるように）したいと思います。片付けが出来ていない時があると改めて感じました。声をかけていくようになります。
- いつもお世話になっております。楽しく学校に通えています。
- 学芸会がなくなったのは残念です。音楽発表会、学習発表会などどんな形でもいいですが、隔年でもいいので取り組んでほしいです。
- 年々、行事（全校遠足、持久走大会など）が減ってきて残念です。
- いつもありがとうございます。あと少し、どうぞよろしくお願ひします。
- 早いもので6年生の3学期となりました。いつもお世話になり、本当にありがとうございます。少しずつですが、実現度も「よくできている」が増えたように思います。発表も出来る様に努力している事が伝わってきます。これからもまだ出来ていないところを少しでも出来るようになるよう努力しながら生活したいと思います。
- 先生方が、いつも手厚く対応してくださって、とてもよい学校だと思います。
- いつも子どもの成長に、ご尽力いただきありがとうございます。担任の先生が子どもを見守ってもらっているという安心感は、何ものにもかえがたいです。卒業まであと少し、どうぞ

よろしくお願ひ致します。

- 学校では、各先生方にきめ細かく声かけやご指導を頂いていると感じており、感謝しております。6年生になってから、学習や生活習慣、家でのお手伝いなども自主的に進んで取り組み、最後まできちんとやり遂げることが増え、成長を感じています。
- 本をよく読むようになりました。

<アンケート分析を終えて>

学校では、学級担任が毎日一番近くで子どもたちの成長を見守っております。子どもたち一人ひとりにとって学級担任は、学校生活において、安心して身を任せる大きな船のようなものだと思います。

その学級担任が毎日エネルギーッシュに、一人一人の子どもたちとしっかりと向き合って学習や生活の指導ができるよう、その時間を確保すべく、また子どもたちの力をしっかりと伸ばす機会をつくるべく、学校の年間カリキュラムを組んだり、働き方を工夫・改善したりしています。

来年度より新指導要領が実施されるにあたり、様々な新しい取り組みも入ってまいります。

『いきいき なかよく りそうに向かって考動する子』の育成という稻荷小学校の学校目標のもと、地域や保護者の皆様と共に、より良い学校づくりに邁進してまいりたいと思っています。

今後とも、本校学校教育にご理解とご協力、そして応援いただければ幸いです。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。